特集 子育てするなら沼津

～こども医療費無料化スタート～

本市では、子どもを安心して育てることができ、また、子どもたちが心豊かに育つことができるよう、様々な子育て環境の整備に取り組んでいます。その実現に向けた更なる取り組みとして、「こども医療費無料化」が10月1日よりスタートします。

今回の特集では、こども医療費助成制度の変更内容や子育て支援施設の支援内容、利用者の声などを紹介します。

お問い合わせは各電話番号へ

こども医療費助成制度

こども医療費助成制度は、通院や入院にかかる費用を助成することで、各家庭の経済的負担を軽減し、疾病の早期発見・早期治療を促進します。それにより、安心して子どもを産み育てられる環境が創出され、子どもの健全な育成にも繋がります。

今回、子育て環境の充実を図るため、本制度を拡充し、**平成29年10月から助成の対象範囲を拡大するとともに、医療費診療分を無料化します。**

0歳から18歳までの子どもが医療機関に通院または入院した場合や院外処方箋（ひょうせん）により薬を受け取った場合など、保険診療の範囲内で医療費の自己負担額を市が全額助成します。

問こども家庭課 ☎055・934・4827

こども医療費助成制度どう変わる？

改正前（平成29年9月30日診療分まで）

対　象
　通　院　中学校3年生まで
　入　院　18歳まで（高校3年生相当年齢）
自己負担額
　通　院　毎回500円
　入　院　1日500円
※通院・入院ともに第3子以降は無料です。

改正後（平成29年10月1日診療分から）

対　象
**　通　院**
**　入　院　18歳まで（高校3年生相当年齢）**
自己負担額
**　通　院**
**　入　院　無　料**
※食事療養費標準負担額も無料となります。

こども医療費 Q&A

Q 医療費助成を受けるにはどうしたらよいですか

A 対象者には9月下旬に受給者証を送付します。病院・薬局の窓口で提示して下さい。

Q 病院・薬局の支払い全てが無料となりますか

A 保険適用分のみ無料となります。診断書代・予防接種代など保険診療分以外の費用は従来どおり自己負担となります。

Q 県外で診療を受ける場合はどうしたらよいですか

A 県外の病院で受給者証は利用できませんので、後日、領収書等の必要書類を持参し、こども家庭課で、払い戻しの手続きをして下さい。

静岡こども救急電話相談

夜間や休日など、救急病院で受診したほうがよいか迷ったとき、電話で小児科医や看護師のアドバイスが受けられる電話相談があります。ご活用下さい。

電話番号　#8000　または　054-247-9910

～豊かな心を育む子育て支援施設～

市内の子育て支援センター一覧はこちらから

子どもと一緒に出かけよう 子育て支援センター

子育て中の親子が気軽に利用できる遊び場の提供や育児相談などを行っている子育て支援センター。0歳から小学生までの子どもとその親等を対象としており、市内10カ所に開設しています。

開館中であれば自由に訪れることができ、解放感のあるフロアでは絵本を読んだり、遊具やおもちゃで楽しく遊ぶことができます。また、子どもの成長を促すため、絵本の読み聞かせや体操など、みんなで遊べる様々なイベントを定期的に行っています。その他、大型のおもちゃなどを積んだワゴン車「ぴよぴよ号」が月1回、各地区センターに出向き、親子での遊び場の提供や育児相談などを行っています。

問子育て支援課 ☎055・934・4826

沼津っ子ふれあいセンターぽっぽで楽しく遊ぶ親子

沼津っ子ふれあいセンター　ぽっぽ

沼津っ子ふれあいセンター所長　堀内浩子さん

「ぽっぽ」には、毎日30組ほどの親子が訪れ、子どもたちの年齢・月齢に関わらず、みんな仲よく遊んでいます。親子で一緒に体を動かすわくわくタイムや絵本タイムなど楽しいイベントを定期的に開催し、保護者同士もお互いに育児についての情報交換や悩みを話せるほど、交流が深まっています。

職員は子育てに対する悩みや不安についての相談にも応じます。また、館内は市や子育てサークルからの子育てに役立つ情報で溢れています。

ぜひ、親子で気軽に遊びに来て欲しいです。

市内在住 加藤麻莉さん 敦士くん（1歳10カ月）

一年前から週三回ほど「ぽっぽ」を利用しています。元々沼津に住んでいなかったので、近くに知り合いもなく、慣れない環境での子育てが不安でしたが、ここで知り合った友達や職員の方から、沼津市の子育て支援について色々と教えていただき、気持ちが楽になりました。自分たちのタイミングで利用できることもあり、支援センターは私たち親子の強い味方です。

子どもの健全な育成に向けて 放課後児童クラブ 放課後子ども教室

「放課後児童クラブ」は、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等の遊び場や生活の場として、市内の22小学校区に設置されています。

共働き世帯の増加による利用者ニーズに応えるため、現在、施設の増設を進めています。

「放課後子ども教室」は、放課後等の子どもたちの安全・安心な居場所として、地域住民との交流を図りながら、様々な体験活動や学習機会の場を提供しており、市内5カ所で、週1回から月1回実施しています。

定員はなく、希望する児童は誰でも参加することができます。

問子育て支援課 ☎055・934・4842

大岡南小放課後子ども教室

運営委員 岩澤真理子さん

大岡南小では、月3回放課後子ども教室を開催し約100人の児童が訪れます。グラウンドや体育館を利用し、地域ボランティアが見守る中、みんな楽しく遊んでいます。

一年生から六年生までの子どもが大人数で遊ぶことによって、年上の子は年下の子の面倒をみるようになり、私たちの手伝いもしてくれます。子どもたちは道具などのきっかけを与えれば、自分たちで考え、自由に遊び始めます。問題が起きたときは、自分たちで解決するよう見守ることにしています。

粘土遊びをする子どもたち

子育て応援情報ツール

子育てに役立つ様々な情報をガイドブックやホームページ、SNS等で発信しています。ぜひ、ご活用下さい。

ぬまづ子育てガイドブック

いきいきぬまづっこ

子育て支援施設の紹介や助成制度、子育てに関する相談窓口など多岐にわたった情報が掲載されています。子育て支援課や健康づくり課、子育て支援センター等で配布しています。

市公式ホームページ「いきいき！沼津っ子」でもご覧頂けます。

子育て支援課フェイスブックページ

子育て ぬまづ暮らし

市や子育てサークルが行う楽しいイベントを中心とした子育て情報をお届けします。